

はりっしも探索



川の水質を調べる事の重要性について

河川調査班 班長 青木 博

■川を見ていると、急にカニや魚が大量に死んでいたり、川の水が急にどす黒くなったり、また特定の場所では藻がいつまでも生えてなかったり、湧水の量が異常に少なくなる等の色々な変化に気づきます。これらが自然に即した変化ばかりであれば良いのですが、自然以外の要因により引き起こされているのではとの懸念があります。これらの事を明確にするためには、先ずは毎日流れている川の水質、量などが季節によりどのように変化しているかを調べる必要があるのでは？との意見がでてきました。

そこで以前からこの地域で河川の調査をされていた滋賀県立大学の小泉尚嗣教授にご指導を受け、針江・霜降区に流れ込む河川や湧水の水質、水量等を2ヶ月に一度、区内9箇所の地点でデータ採取していき事になりました。この調査は昨年9月からやりはじめ、既に4回実施しています。加えて、前述データ採取とは別に両区内にある河川の数カ所の地点で河川の水質(水、藻、生物等)を1ヶ月に一度の周期で定点撮影した画像、動画も蓄積していきとしています。

これらの調査を複数年継続実施し、そのデータを整理することにより、河川の水質や量、藻や生物の季節ごとの自然な変化が把握でき、逆に自然以外の要因による河川の変化をいち早く気づき川への悪影響を未然防止する事ができれば、次世代の子供達にこの豊かな水を受け継げるのではないかと考えています。

「水辺の祈りと暮らし」

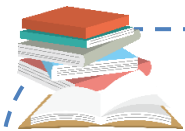
有形民俗文化財調査



私たちの地域には、豊かな水への感謝と畏敬を表す有形民俗文化財があちこちに点在しており、古から連綿と続く祈りと暮らしの文化があります。

透き通る川中にたたずむ石仏、水辺の小さな祠、そして、愛宕さん、秋葉さん、観音さん、行者堂(重要な構成要素)など、今も大人衆や愛宕講、観音講などによって守られています。庚申さんや寺跡の地蔵堂など継承が難しくなっているものも出てきています。

本調査では、「水の文化」を形成してきたこの地域の成り立ちや、人々の信仰を集めてきた寺社や仏像・石碑のいわれなどについてもひととき、伝承していければと思います。



針江・霜降の水辺景観資料室

定期公開中!

針江公民館2階(旧さつき文庫)

■公開日時/毎月第3土曜日 午後1時30分~4時
※公開日時は変更になる場合があります。

針江公民館前にてお知らせします。

★別途、見学をご希望の方は、協議会役員までお問い合わせください。

資料室では、針江・霜降の水辺景観関連の資料・文献、古文書や絵図、当地域の研究者や学識者の研究論文、その他、新旭や高島市、滋賀県の歴史や風土にかかわる書物などを所蔵展示しています。

水辺景観の関連資料を募集中!

■重要文化的景観の関連資料、地域の古い写真や古文書、文献記録類など、公開やご寄贈いただけるものがありましたら、協議会役員までお知らせください。

はりっしも information

*当協議会は、私たちの大切な「水の文化」を「守り、伝え、繋ぐ」活動を進めています。

■カバタの「保存修理」「追加登録」、重要文化的景観の整備活用等のご相談、及び「カバタ調査」「河川調査」「文化財調査」についてお問い合わせは当協議会の役員までご連絡ください。



*重要文化的景観に選定された際に重要な構成要素として認定されているカバタ(45件)などを保存修理・修復する場合は、国から経費の補助を受ける制度があります。

令和4(2022)年度 針江・霜降の水辺景観まちづくり協議会 役員

会長 足立 亨 副会長 北野俊朗(針江区長) 海東 弘(霜降区長)
〔針江〕前田豊彦 伊藤 昭 高田一雄 三宅 進 高橋正通 森田茂之
〔霜降〕山川 隆 青木 博 山川三津浩 藤本徳治

針江・霜降の水辺景観まちづくり協議会の
インフォメーションがホームページとFacebookで見られます。
<http://harishimo.jp/>

